

研究成果の国際広報を 支援します。

論文や書籍が出たら、世界に向けて発信しませんか

研究開発推進機構では、研究成果を世界に発信するために国際研究広報の支援を実施しています。研究成果をいち早く世界に発信することで、共同研究や産学連携へのきっかけを得るなど、研究の一層の発展が期待できます。対象となる研究成果発表の予定がある場合は、本支援を是非ご活用ください。



サイエンスライターが論文を基に
英文記事を作成します

EurekAlert!に英文記事を
掲載します。

<https://www.eurekalert.org/>

★★★支援の条件や申請方法は、裏面をご覧ください★★★

お問合せ:研究開発推進機構 (内線:京田辺 8257

研究企画課: ji-kenkak@mail.Doshisha.ac.jp

URA: jt-ura@mail.doshisha.ac.jp

研究成果の国際広報の支援について(2025年度)

1. 支援対象となる研究成果

【研究論文】

- ✓ 本学研究者等*1)が筆頭著者もしくは責任著者
- ✓ 掲載決定かつ論文公表後90日以内
- ✓ 高インパクトジャーナル(TOP10%)への掲載

【著書等】

- ✓ 本学研究者等*1)が執筆
- ✓ 下記の国際広報対象出版社*2)から査読を経て出版された著書またはbook chapter

2. 支援内容

(1) 英語リリース文の作成

サイエンスライターが研究論文をもとにリリース文を作成します。リリース文の作成にあたり、申請者に対して、簡単な質問票への回答、写真・図等の素材の提供等をお願いします。**質問票はこちらからダウンロードしてお使いください。**

※「英語リリース文の作成」は、研究論文を対象とした支援となります。著書またはbook chapterの場合は、申請者自らがリリース文を作成してください。

(2) EurekaAlert!への掲載

EurekaAlert!(<https://www.eurekaalert.org/>)にリリース文を掲載します。

同様のリリースを研究開発推進機構のHPに、リリースのお知らせを同志社大学HPに掲載します。

3. 実施件数

2025年度に20件程度

※予定件数に到達した時点で国際研究広報に係る費用面での支援は終了しますが、申請者自らが費用負担していただける場合は、各種手続き等の支援は実施します。

4. 申請方法・期限

申請者情報(所属、氏名)に次の情報を添えて連絡してください。期限: 2026年2月末日まで

【研究論文の場合】

1. 掲載誌
2. 論文タイトル
3. 公開日
4. 著者

【著書等の場合】

1. 出版社名
2. 著書タイトルまたはbook chapterタイトル
3. 出版日
4. 著者

【申請先】

研究開発推進機構 研究推進部 URA (jt-ura@mail.doshisha.ac.jp)

*1) 本学研究者等:

専任教員、任期付教員、特別客員教授、特別任用教授、専任フェロー、特定任用研究員、チェア・プロフェッサー、特別任用助教(有期研究員)、特別任用助手(有期研究員)、特別研究員、外国人留学生助手(有期)、日本学術振興会特別研究員(同志社大学研修員)

*2) 国際研究広報対象出版社:

Academic Press, Basic Books, Brill, Cambridge University Press, Columbia University Press, Cornell University Press, Duke University Press, Elsevier Science, Harvard University Press, Indiana University Press, John Wiley & Sons, Johns Hopkins University Press, Kluwer, Lexington Books, Massachusetts Institute of Technology Press, New York University Press, Oxford University Press, Palgrave Macmillan, Princeton University Press, Routledge, Sage, Springer International, Springer Nature, Stanford University Press, University of California Press, University of Chicago Press, University of Michigan Press, University of Minnesota Press, University of Texas Press, University of Wisconsin Press, Yale University Press

※2025年度の支援対象であり、今後見直す可能性があります